

3か年計画で河内川の環境を改善

よみがえれ、ふるさとのせせりぎ事業

議員 本市では十五年度の重点施策として、よみがえれ、ふるさとのせせりぎ事業を実施し、河内川の環境整備に取り組みとしていくが、この事業



河内川通水式での稚魚の放流(3月13日)

にも着目し、川を媒体とした回廊のようなものを考えており、次世代に残すものとしてまたない好材料と考えている。川のしゅんせつおよび砂利の入れ替え、親水階段・飛び石の設置、水辺の植栽等により親水性を向上させていきたいと考えている。

議員 河内川は県の管理河川であるが、この事業を進めるに当たって、県・市の役割分担は考えられているのか。

水政課長 川のしゅんせつおよび砂利の入れ替えについては、県が施工し、それ以外の親水施設や環境にかかわる部分を市が施工することになる。

議員 三年後には環境が大きく変ぼうした河内川になっていると思うが、その変化の過程を子供たちに

議員 現在、工場跡地となつている新町八五二番地一は、工業専用地域である。最近この場所にパチンコおよびゲームセンターの建築の話が出ており、近隣自治会では建築反対の署名運動が広がりをみせている。このパチンコ店等が建築できるこ

工専地域での遊技施設の建築許可の経緯めぐり論議

議員 現在、工場跡地となつている新町八五二番地一は、工業専用地域である。最近この場所にパチンコおよびゲームセンターの建築の話が出ており、近隣自治会では建築反対の署名運動が広がりをみせている。このパチンコ店等が建築できるこ

とになった経緯について伺いたい。

都市計画部長 十四年十二月に建築許可申請が出されたことを受けて、十五年一月に利害関係者を含めた意見の聴取会を開催した。この法定の意見の聴取会とは別に自治会からの要請により説明会

懸案の保健センター 建て替え計画 PFI方式も視野

議員 長年の懸案事項である保健センターの建て替えについては、東豊田工業団地内の福利厚生用地での建て替えを検討してからのかなりの時間が経過している。そのような中、十五年度予算では地質調査等委託料が計上され、PFI方式での整備も視野に入れていくとのことである。そこで、施設建設の最終年度、施設規模等については、どのように考えているのか聞

きたい。

助役 第三次実施計画での実現を目指し、現在準備を進めており、建設の最終年度は十八・十九年度を想定している。現在の保健センターは、休日・夜間急患診療所、保健センター、三師会の事務所という三つの機能を有しており、建て替え後もその機能を併設する施設を考えている。具体的な規模は、関係機関と協議を続けており、早期に確定

に開催する通水式の前には、子供たちが水質検査を行うことも考えている。

議員 他河川についてはどう考えているのか。

市長 流域の河川に対する市民の取り組みが盛んに行われている地域は、河内川以外にもいくつかあるので、今後検討していかねばと考えている。

自然環境の再生 河川以外での対応は議員 開発などにより荒れた自然環境を取り戻すための事業を総合的に推

進する自然再生推進法が昨年の臨時国会で成立し、本年一月から施行された。自然再生推進法の対象事業は広範囲にわたるが、河川以外の事業についてはどう考えているのか。

市長 本市では、相模川や花水川の河口部に広がる干潟、土屋方面の里山等が挙げられるが、地域や団体などの自主的な参画が必要と思うので、地域主導で機運が盛り上が

を許可した日は、十五年二月十九日である。また、その根拠は建築基準法第四八条第一二項ただし書きの「工業の利便を害するおそれがないと認め」という部分を適用し、許可したものである。

議員 建築基準法の例外を認めよう努力していきたい。

議員 PFI方式での整備の方向性と企業等への施設計画の提案内容が決まっていれば伺いたい。

議員 建築基準法第四八条第一三項では、前各項のただし書き規定により許可する場合においては、建築審査会の同意を得な

土沢地区の生活排水処理

農業集落排水事業 導入へ意向調査実施

議員 生活排水処理事業は、水質保全や生活環境の改善を図るためにも重

要である。本市では、県の生活排水処理施設整備構想を受け、現在、合併処理浄化槽を主に設置している土沢地区で農業集落排水事業を進めていくこととしていく。土沢地区でこの事業を進めるに当たって、アンケート調査等を行っていると聞か、その内容を伺いたい。

下水道部長 これまでに四回の調査を行った。四回目の調査は自治会からのアンケート調査という形で進められており、農業集落排水事業の実施に

ければならないとされているが、審査会の開催状況と同意理由を聞きたい。

都市計画部長 今回は建築審査会を二回開催し、五時間余にわたって熱心に検討が行われた。なお、審査会の同意理由は、工業の利便を害する明白な事実が認められないというものである。

交通量調査の実施 議員 交通量調査は実施したのか。

都市計画部長 方向別、車種別、時間帯別に調査観測を行った。また、当該施設完成後のシミュレーションとして、建設予定地からの出入庫車両による前面道路(萩原八幡線)への影響について、通行可能な一時間当たりの最大交通量を求め、その値と現況の交通量にパチンコ店からの想定出入車両を上乗せした交通量との対比などについて検討を行った。

する同意の有無に関するものであった。各自治会により異なるが、同事業への同意は、四九%〜七六%の結果がでている。

議員 市は農業集落排水事業を進めていくかどうかの判断基準をどのように考えているのか。

下水道部長 対象地区世帯の大多数の同意を目標に、自治会長等の協力のもと説明会を開催し、住民の理解を得ながら進めていきたいと考えている。

議員 全国的には合併処理浄化槽で実施した方が、コストが安い等の議論もある。本市の場合、土沢地区は農業集落排水事業で整備した方が、住民も市も負担が少ないという試算を行い、住民にも説明しているのか。

下水道建設課長 自治会のアンケート調査の中で、

公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽事業のさまざまな事項について対比表を示している。その中で、費用負担の算出方法等も明らかにしており、負担額については、農業集落排水事業の場合は一戸当たり約三〇万円、合併処理浄化槽の五人槽を設置する場合は五六万円になると示している。

イラク問題の平和的解決を求める意見書

国連安全保障理事会は、イラクに大量破壊兵器の査察や廃棄を求める決議を全会一致で採択した。イラクはこの決議を受け入れ、現在、国連査察団による査察が進行している。

国連安全保障理事会に参加する圧倒的多数の国が、査察の有効性を確認し、その継続・強化による平和的解決に向けて、積極的な役割を果たすよう強く要請する。

以上、地方自治法第九九条の規定により意見書を提出する。

平成十五年三月七日 平塚市議会